

平成30年度

福島成蹊中学校 1期入試問題

理科・社会〔社会分野〕

平成29年12月3日（日）

時間 11時15分～11時35分（20分間）


「はじめ」の合図があるまでは、この問題用紙の中を開いてはいけません。

注意事項

1. 問題用紙と解答用紙が配布されます。
2. 問題用紙は1ページから10ページまでです。
3. 問題は【1】から【3】までです。
4. 監督者の指示に従い、解答用紙の注意事項にそって必要事項を記入しなさい。
5. 解答は記述式です。最も適切な答えを解答用紙にていねいに記入しなさい。
6. 問題の内容についての質問は、一切応じません。それ以外のことがらについてたずねたいことがあれば、手をあげて監督者に聞きなさい。
7. 監督者の「はじめ」の合図で始め、「やめ」の合図ですぐやめなさい。
8. 定規を使用してもかまいません。ただし、計算機能を有する機器は使用してはいけません。

【1】草太さんたちのグループは、歴史博物館で職場体験を行った。学芸員の指示のもと3日間にわたって、わが国の農業や人々の生活に関する企画展の準備を手伝い、展示品の整理などを体験した。各問いに答えよ。

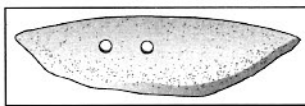
問1 1日目は、まず縄文・弥生時代の展示室で作業を手伝った。

- ① 縄文時代の末ごろ、わが国に稲作が伝えられたとされる地域はどこか。略地図中の  で示したア～エの地域から1つを選び、その記号を書け。
- ② 資料1は、弥生時代を中心として使われた石包丁である。これは、稲作におけるどのような作業で使われたと考えられているか。簡潔に書け。

略地図



資料1



- ③ 弥生時代の人々の生活について述べた文として適切でないものを、次のア～エから1つを選び、その記号を書け。

- ア 青銅器を、豊作を祈る祭りの道具などとして用いた。
- イ かざりの少ない土器を、米の保存や煮炊きなどに用いた。
- ウ 律令に基づき、稲の収穫量の約3%を税として国に納めた。
- エ たて穴住居に住み、その近くに高床倉庫を設けて稲を保管した。

問2 次にグループは、飛鳥時代の展示室で作業を手伝った。

- ① 次の文章は、飛鳥時代の展示室にあった資料の冠位十二階や十七条の憲法について述べたものである。文章中の  ,  にあてはまる文の組み合わせとして最も適当なものを、下のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書け。

冠位十二階は、 を目的として制定されたものであり、冠の色や大きさによって位が一目でわかるようにした。十七条の憲法は、 と書かれているように、仏教や儒教の考え方を取り入れている。

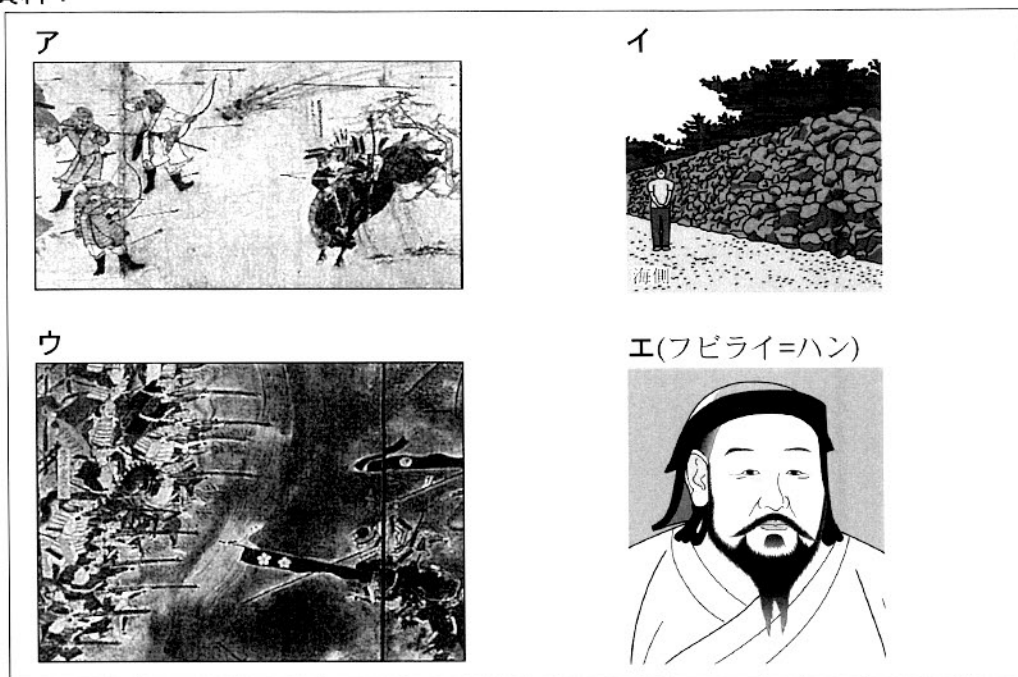
- ア X 家柄にとらわれず才能のある人物を役人に取り立てること  
Y 「一に曰く、和をもって貴しとなし、さからうことなきを宗とせよ（なせ）。」
- イ X 家柄にとらわれず才能のある人物を役人に取り立てること  
Y 「広ク会議ヲ興シ万機公論ニ決スベシ」
- ウ X 有力な豪族が子孫までその地位を継承できるようにすること  
Y 「一に曰く、和をもって貴しとなし、さからうことなきを宗とせよ（なせ）。」
- エ X 有力な豪族が子孫までその地位を継承できるようにすること  
Y 「広ク会議ヲ興シ万機公論ニ決スベシ」

- ② 冠位十二階や十七条の憲法が制定されたときの天皇を答えよ。

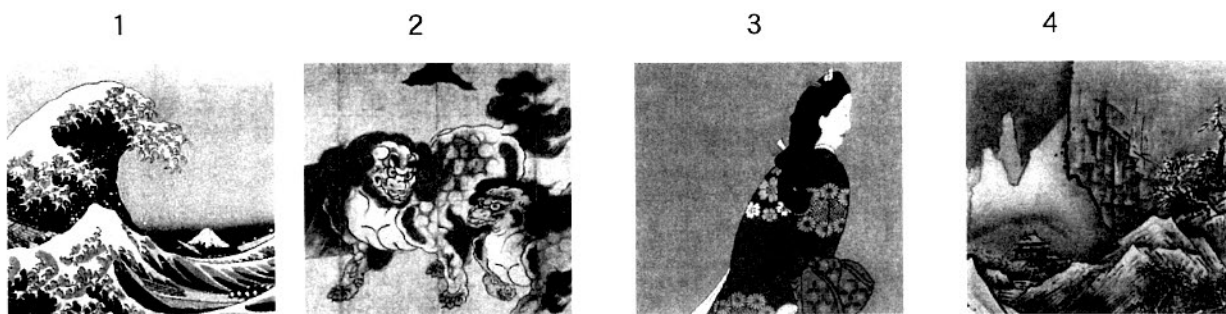
問3 2日目は、初めに鎌倉・室町時代の展示室で作業を手伝った。

①この展示室にあった元寇についての資料について、元寇に関連のないものを資料1中のア～エより1つ選び、記号で答えよ。

資料1

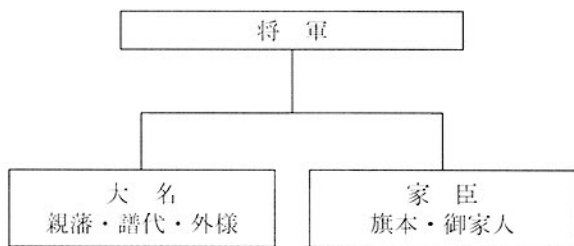


②室町時代に活躍した雪舟が描いた代表作として適切なものを、下の1～4の中から選べ。



問4 次にグループは、江戸時代の展示室で資料の掲示作業を手伝った。次の資料Ⅰは、江戸幕府の支配のしくみを表したものの一部で、資料Ⅱは、江戸の市街地の土地利用を示したものである。また、資料Ⅰの(X)には、法令で定められた、大名に対する制度の一つがあてはまる。江戸の市街地の土地利用には、どのような特徴が見られるか。江戸の市街地全体のなかで大半を占めている土地は何であるかについて、資料Ⅰの(X)の名称を明らかにし、この制度と関連させながら、簡単に書け。

資料Ⅰ



( X )の制度により  
1年おきに江戸と領地  
に居住する

資料Ⅱ



問5 最終日は、明治時代の展示室で資料の掲示作業を手伝った。下の史料は、地租改正にともなって発行された地券の実例を示したもので、には、この土地（宅地）の明治9年までの地租の金額を表す漢数字が入る。に入る漢数字として正しいものを、次のアからクのうちから一つ選べ。

ア 一  
オ 五

イ 二  
カ 六

ウ 三  
キ 七

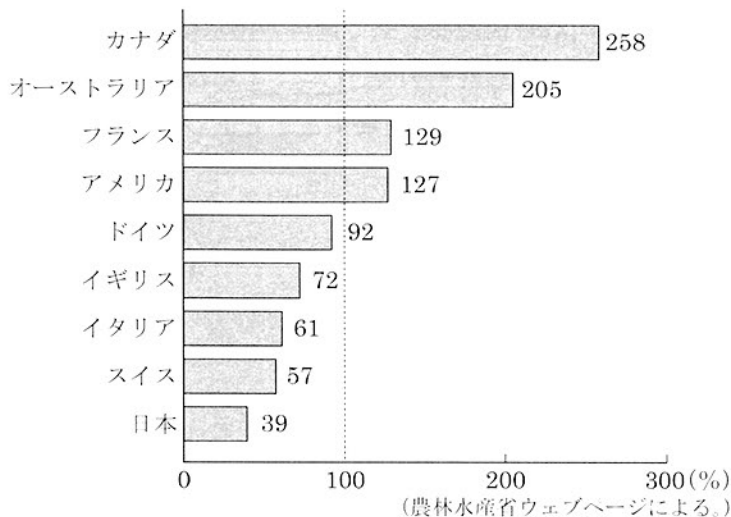
エ 四  
ク 八

地 券

第二大区九小区  
三田四丁目三十一番地 同区三田二丁目  
一、宅地 百九十八坪七合五勺 持主 福沢諭吉  
地価 金百九十二円二十九銭一厘  
この百分の三 金  円七十六銭九厘 地租  
明治十年より  
この百分の二ヶ半 金四円八十銭七厘 地租  
右、検査の上、これを授与す  
明治十一年十月八日 東京府

- ※ 坪・合・勺は面積の単位。1坪は約3.3m<sup>2</sup>。1坪は10合、1合は10勺にあたる。
- ※ 円・銭・厘は通貨の単位。1円は100銭、1銭は10厘にあたる。
- ※ 慶応義塾福沢研究センターが所蔵する史料を、読みやすく書き改めている。

【2】 あるクラスの社会科の授業で、「食料自給率からみた日本と世界」というテーマで班に分かれて学習した。右のグラフは、この授業のはじめに先生が提示した、2011年（平成23年）の日本と諸外国の食料自給率を示している。また、次のカードⅠ～Ⅲは日本の食料自給率が低い原因について、A～C班がそれぞれ予想した内容を示している。これらを見て、あとの問1～問4に答えよ。



カードⅠ

A班が予想した内容
日本の食料自給率が低いのは、地形が原因ではないか。① <u>けわしい山地が多く、山がちな地形</u> で国土の大部分が占められているため、耕地面積が狭く、農産物の生産量が少ないのだと思う。

カードⅡ

B班が予想した内容
日本の食料自給率が低いのは、農産物の輸入の自由化が原因ではないか。自由化によって、② <u>農産物の輸入が増加し、その影響で国内の農産物の生産量が少なくなった</u> のだと思う。

カードⅢ

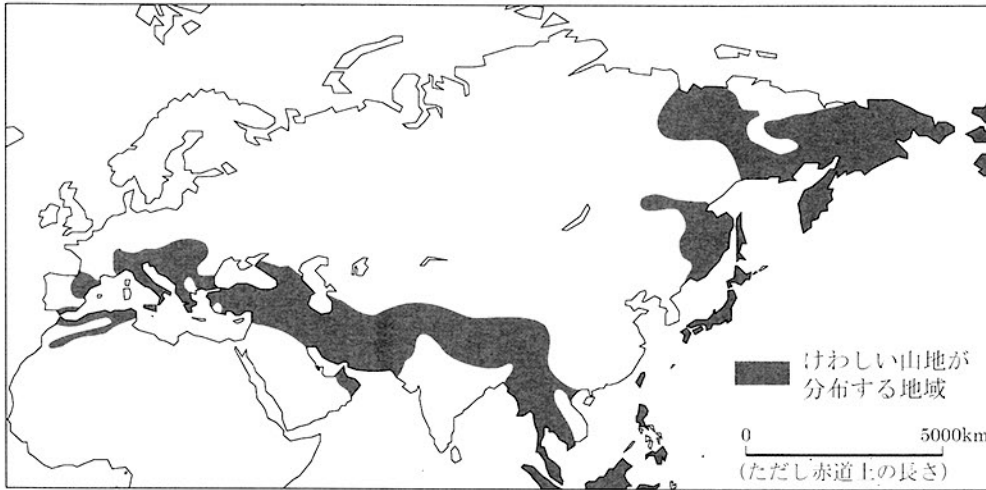
C班が予想した内容
日本の食料自給率が低いのは、③ <u>海外で生産される食料に対する需要が高い</u> ことが原因ではないか。日本は経済的に豊かな先進国になり、食料の輸入が増えたのだと思う。

問1 このクラスでは、グラフ中の食料自給率が100%を超える4か国の共通点を考えた。次のア～エのうち、この4か国の共通点として適切なものはどれか。その記号を1つ選んで書け。

- ア 北半球に位置している。                      イ 国土の大部分が温帯に属している。  
ウ 日本よりも総人口が少ない。              エ 日本よりも国土面積が広い。

問2 下線部①に関して、次の(1)・(2)に答えよ。

(1) A班では、グラフ中の国で日本について食料自給率が低い3か国について、国土の大部分がけわしい山地で占められている国かどうかを調べた。あとの地図は、けわしい山地が分布する地域を示している。あとの(ア)～(ウ)のうち、国土の大部分が、けわしい山地が分布する地域で占められている国をすべて選び、その記号を書け。

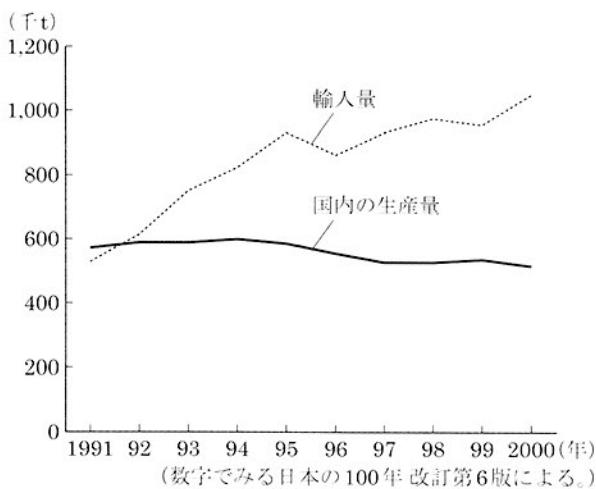


(ア) スイス      (イ) イタリア      (ウ) イギリス

(2) A班では、日本において山がちな地形でどのように農業が行われているかを調べ、右の写真のように傾斜地でも工夫をして水田がつけられていることがわかった。傾斜地で水田をつくるためにどのような工夫が行われているか。写真をもとに具体的に書け。



問3 下線部②に関して、B班では、1991年から輸入が自由化された牛肉の国内の生産量と輸入量を調べ、下のグラフを作成し、自由化以降、輸入量は増加しているのに、国内の生産量はあまり減少していないことに気付いた。B班では、その理由を考えるため、牛肉の国内生産の様子について調べた。下の資料はそのとき見つけたものである。資料から、自由化以降、牛肉の国内の生産量があまり減少していないのはなぜだと考えられるか、簡潔に書け。



**資料**

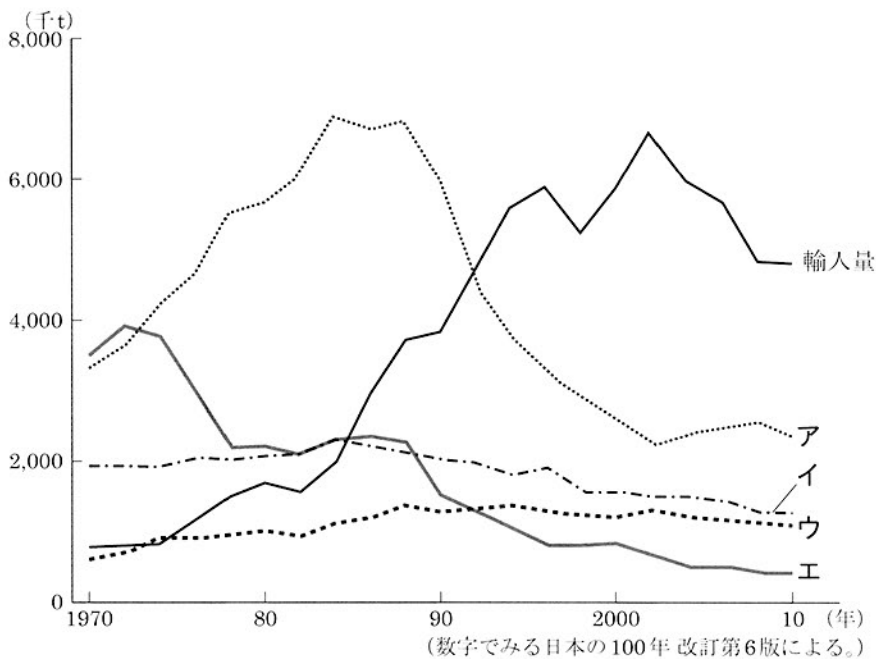
日本には、いわゆる「ブランド牛」の産地が2003年で189か所あります。これらの産地の多くは「ブランド牛」を作って、登録認証組織が認めた牛肉を生産・販売しています。「ブランド牛」とされるためには、高い品質と安全性に対する気配りなどが求められ、与える飼料や飼育方法が細かく決められている産地もあります。

問4 下線部③に関して、C班では、日本がどのような食料を輸入しているかを調べた。次の表は食料の輸入額上位5品目の輸入額と輸入量を示している。これを見てあとの(1)・(2)に答えよ。

主な品目	輸入額(億円)	輸入量(千t)
魚介類	14,660	4,081
肉類	11,662	2,635
野菜	4,832	3,137
とうもろこし	4,637	14,637
果実	4,535	4,711

(日本国勢図会 2014/15年版, 日本の統計 2015年版による。)

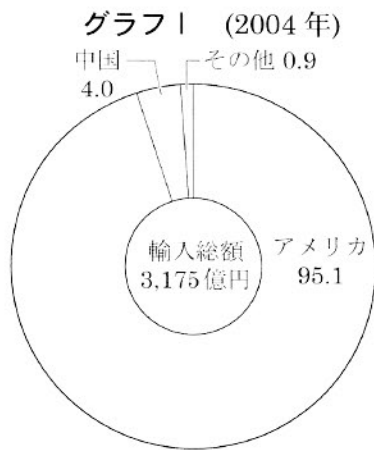
(1) C班では、輸入額が最も多い魚介類について、日本の漁業形態別の漁獲量と輸入量の推移を調べ、次のグラフを作成した。グラフ中のア～エは、沿岸漁業、遠洋漁業、沖合漁業、海面養殖業のいずれかの漁業形態による漁獲量と一致する。ア～エのうち、海面養殖業にあたるものはどれか。その記号を書け。



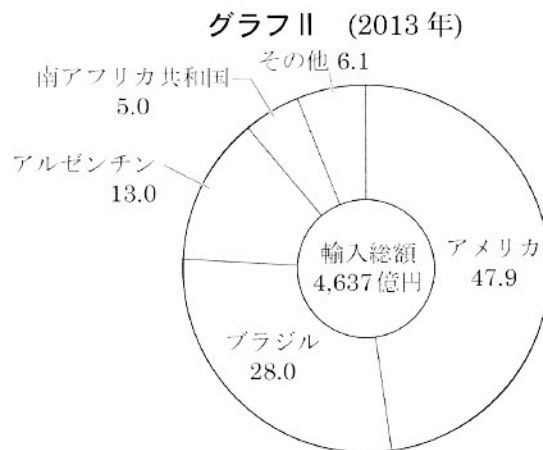
(2) C班では、輸入量が最も多いとうもろこしについて調べ、次のグラフI・IIと資料を見つけ、これらをもとに日本のとうもろこしの輸入相手国の変化について話し話合った。下の会話はそのときのものである。会話の中で次郎さんはどのように述べたと考えられるか。会話中の  にあてはまるように、資料をもとに、簡潔に書け。



日本のとうもろこしの輸入総額と輸入相手国の割合(%)



(日本国勢図会 2005/06年版による。)



(日本国勢図会 2014/15年版による。)

資料

とうもろこしの輸入相手国でのできごと

- ・アメリカは、2005年から政府主導でバイオエタノールの生産拡大をはかっている。その結果、2007年には原料となるとうもろこしの国内需要が急増してとうもろこしの価格が高騰した。
- ・アルゼンチンは、2006年にとうもろこしが不作となり、輸出を禁止した。

次郎さん：グラフⅠ・Ⅱから、2004年と2013年を比べると、とうもろこしの輸入相手国が大きく変化していることがわかるね。

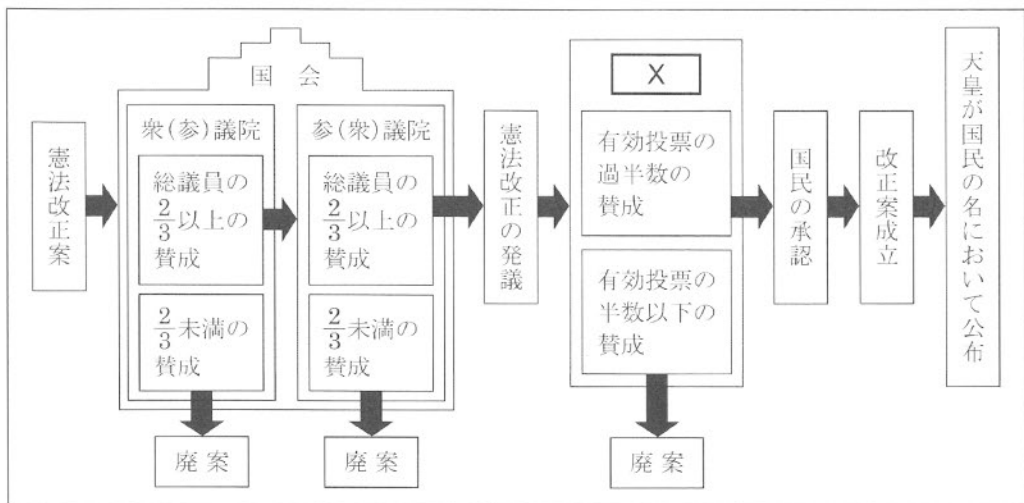
太郎さん：2004年では大部分をアメリカから輸入していたけど、2013年では他の国からも多く輸入するようになってきているね。どうしてかな。

花子さん：2004年に比べて2013年では輸入総額が増えているから、アメリカから輸入できる量では足りなくなって、他の国からも輸入したんだと思うわ。

次郎さん：そうかもしれないけど、重要な輸入品だからより多くの国から輸入するようにしたんだと思うよ。その理由を資料をもとに説明すると、多くの国から輸入する方が  から、日本にとって有利だと思うんだよ。



問4 下線部④に憲法を改正するとあるが、下の図は、日本国憲法第96条などに定められている憲法改正の  
 手続きについて示そうとしたものである。図中の  X  内にあてはまる最も適当な言葉は何か。あとの  
 ア～エから一つ選んで、その記号を書け。



- ア 住民投票    イ 国事行為    ウ 国民投票    エ 国民審査